

～今月のテーマ～

# 花の便り

National  
Parks  
of Japan



利尻礼文  
サロベツ  
国立公園  
だより

ーその自然には、物語があるー

2021/5 Vol.2

春を告げる花々を“スプリング・エフェメラル（春の妖精）”と呼び、古くからヨーロッパでは、待ちわびた春の訪れを祝います。つい先日、雪解け後のミズバショウに喜んでいたのもつかの間。あっという間にあちこちで、北海道でしか見られないエゾエンゴサクが道端で見られるようになりました。今月号では、各地の様々な花の便りが聞こえてきました。



## サロベツ

### 希望をこめて

下サロベツ原生園地を歩いているとピンクの花が目にとまりました。

花の名はショウジョウバカマ、ちなみに花言葉は「希望」です。

この言葉を借りて順調な植物達の成長や、コロナの収束に希望を持ちたいと思います。

撮影・文：福井翔太  
(サロベツアクティブレンジャー)



## 礼文島 小さなコザクラ

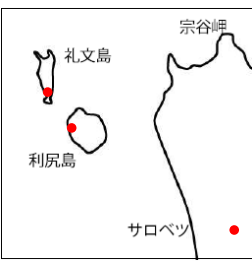
5月でも気温が1桁の日がある礼文島ですが、小さなレブンコザクラが花を咲かせていました。思わず足を止め、可愛らしいレブンコザクラに気を緩めてしまいました。もう少しすると桃岩展望台では多くのレブンコザクラが咲き、ピンク色で埋め尽くされます。

撮影・文：津田涼夏（礼文島アクティブレンジャー）

## 利尻島 オオバナノエンレイソウ咲く

利尻島にある森林公園では季節によって多くの種類の花が咲きます。春先には「オオバナノエンレイソウ」「エゾエンゴサク」などが咲き公園を彩ります。また野鳥も多く生息しているので、興味のある方は立ち寄ってみてください！

撮影・文：室田雄飛（利尻島アクティブレンジャー）



ー今回の撮影場所(撮影日)ー

【利尻島】利尻町森林公園  
鷺泊港フェリーターミナルから車で20分(2021.5.11)

【礼文島】桃岩展望台コース  
香深港フェリーターミナルから車で10分(2021.5.11)

【サロベツ】幌延ビジターセンター  
JR下沼駅から車で10分(2021.5.7)

### 「利尻礼文サロベツ国立公園だより」とは

日本最北の国立公園にはアクティブレンジャーと呼ばれる公園管理を行うスタッフが3名それぞれ利尻島・礼文島・サロベツで働いています。そんなスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けします。

発行：環境省 稚内自然保護官事務所